

2020

# こどもエコクラブ 活動事例集



群馬県

# 令和2年度のこどもエコクラブ

こどもエコクラブは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

平成7年度の誕生以来、今年度で25年目を迎えました。全国で1,653のクラブがあり、86,065人のこどもたちが自主的な活動に取り組んでいます。(令和2年12月31日現在)

群馬県では、令和2年度は、44クラブ、1,003人のこどもたちが、こどもエコクラブのメンバーとなり、198名のサポーターさんたちに支えられながら、それぞれの地域で特色ある活動を行いました。

今年度は新型コロナウイルス流行の年でしたが感染に十分に気をつけながら市町村事務局の担当者やサポーターのみなさんで「こどもエコクラブ事業企画・運営委員会」をつくり、夏の「学習会(おもしろ体験してみ隊)」を企画・運営しました。サポーターの方々や運営委員さんの持っている知識や技術を發揮していただき、みなさんが「参加者であり、スタッフでもある」楽しい手作りの行事になりました。

こどもエコクラブに参加してくれたみなさんと、支援して下さったサポーターのみなさん、そして市町村の担当者みなさんに深く感謝します。

## も く じ

令和2年度 県内のこどもエコクラブ紹介	1
群馬県こどもエコクラブ学習会「おもしろ体験してみ隊」	2
活動報告	6
①前橋市児童文化センター 環境冒険隊	
②太田イオンチアーズクラブ	
③元総社エコクラブ わんぱく探検隊	
④まなやんず	
⑤大島自然たんけんたい	
壁新聞の紹介	15
おすすめ情報「エコムーブ号」	19
こどもエコクラブへ登録してみませんか!	22

こどもエコクラブ(群馬県)のホームページ

<http://www.pref.gunma.jp/04/e0110035.html>

こどもエコクラブ(全国)のホームページ <http://www.j-ecoclub.jp/>

### こどもエコクラブ憲章

- 1 私たちは、生命を生み、育てくれる『水と緑の惑星・地球』を愛し、未来に引き継ぎます。
- 2 私たちは、自分たちの暮らしや身のまわりの環境に関心を持ち、地球とともに生きていくための努力を続けます。
- 3 私たちは、世界中のなかまと、手をたずさえて、地球を守るために活動を続けます。  
私たちは、夢を忘れずに、夢を追い続けます。

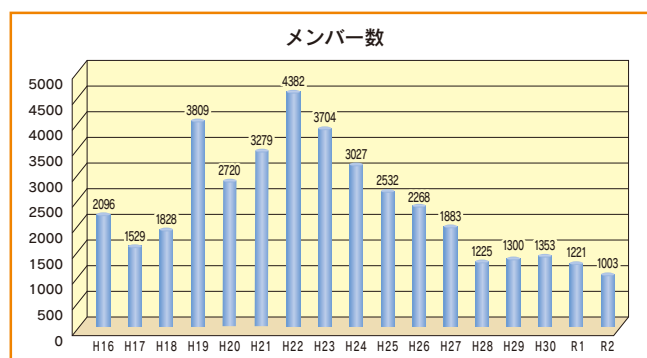
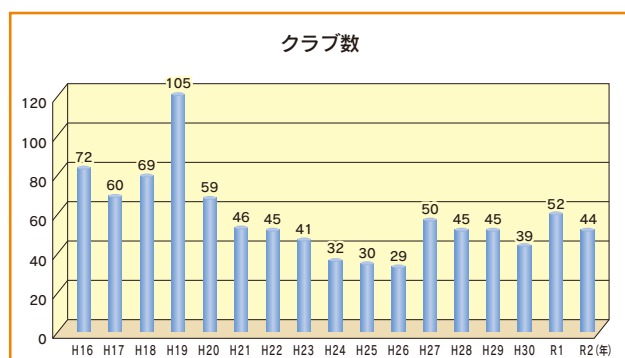
**これからも、群馬県の実境を守るためにがんばっていきます!**

# 令和2年度 県内の子どもエコクラブ紹介

市町村	番号	クラブ名	会員数
前橋市	1	元総社エコクラブ「わんぱく探検隊」	15
	2	前橋市児童文化センター 環境冒険隊	14
	3	バンビクラブ	39
	4	元総社小学校エコクラブ	227
	5	前橋市立元総社南小学校	191
	6	前橋市立元総社北小学校	284
	7	はじまるキッズ	2
	8	まえばしエコっ子クラブ	1
高崎市	9	高崎イオンチアーズクラブ	33
	10	ドロップ イン	2
	11	つぶちゃんず	2
	12	すずきファミリー	1
	13	地球☆レンジャークラブ	3
	14	さきちクラブ	1
	15	スキホコクラブ	2
	16	しずっこ	2
	17	ぼんちゃんクラブ	2
	18	仲良しクラブ	1
	19	とけいやさんクラブ	3
	20	金沢ファミリークラブ	1
	21	Mao'sクラブ	1
	22	みさきっず	2
	23	チームSOYA	2

市町村	番号	クラブ名	会員数
高崎市	24	ぐんまちゃんエコクラブ	1
	25	エコクラブ グリーンハートTAKASAKI	2
桐生市	26	チャウス子どもエコクラブ	100
	27	Bagusぐんま	3
	28	SAKASO	2
伊勢崎市	29	まなやんず	1
	30	アベンジャーズ	1
	31	はやぶさクラブ	2
太田市	32	太田イオンチアーズクラブ	11
	33	子どもエコフェスティバル	11
	34	子どもエコクラブ ていだ	1
	35	りおクラブ	1
沼田市	36	しらすわエコキッズクラブ	17
館林市	37	大島自然たんけんたい	7
渋川市	38	かずまじっく	1
藤岡市	39	ぐんちゃんチーム	2
	40	ぐんまふじおか子どもエコクラブ	2
	41	のぶきっず	1
	42	りあクラブ	2
	43	ほしクラブ	2
安中市	44	T・K・T	2
合計：44クラブ			メンバー数1,003名

## 群馬県内の子どもエコクラブの変遷





# 群馬県こどもエコクラブ学習会 令和2年度 「おもしろ体験してみ隊」開催!!

8月29日(土) 憩いの森森林学習センター

8月29日(土) 憩いの森森林学習センターを会場に群馬県こどもエコクラブ学習会「おもしろ体験してみ隊」が開催されました。新型コロナ流行の中ではありましたが2つのクラブのメンバー16名とサポーター5名、事務局9名、講師3名、計33名が参加しました。

開会行事では県環境政策課藤巻課長のあいさつのあと前橋市児童文化センター環境冒険隊の中村心郁さんと後藤浩太さんが学習会に臨む気持ちを発表してくれました。

午前中は森林観察会を実施しました。森林学習展示館前で出発式が行われ、その中で観察会講師の剣持雅信先生、濱田誠先生、二川真士先生が紹介されました。その後講師の3人の先生方を中心に3つのグループに分かれ、森林観察に出発しました。森の中でフィールドビンゴを実施して森の姿に眼を向けたり、講師の先生から森の動植物が巧みに生きている様子などを学びました。

午後は憩いの森で採れた木や木の実を材料にして木工工作を行いました。こどもたちの自由な発想を生かし、メンバーそれぞれが工夫しながら思い思いの作品に仕上げていました。どのメンバーも柔軟な発想で、大人ではすぐには考えられないような素晴らしい作品を作り上げていました。



藤巻課長あいさつ



メンバー代表あいさつ



出発式 講師紹介





子ども達は森の中での観察や森の恵みを材料にした木工工作を通して自然の大切さや不思議さやありがたさなどを発見したり学んだりしながら素晴らしい体験ができました。

森の中ではいろいろな出会いがありました。ヘビがトカゲを捕食する様子が観察できたり、森の木の実を食べたり、かわいいツリフネソウ（インパチェンス）にマルハナバチが寄って来る姿が見られたり、オトシブミが木の葉で上手に巻いたたまごが落ちていたり、そのほかたくさんの観察ができました。



種が飛ぶ様子の解説



ツリフネソウ



図鑑も使って

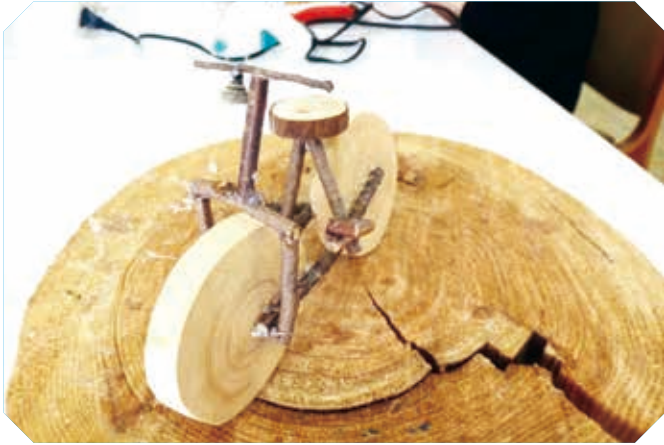


鳥の巣の観察





「木工工作」 全員が素晴らしい作品を作りました。





閉会行事では、斎藤企画運営委員長の挨拶の中で、メンバーの皆さんが熱心に森林観察会に臨んでいた様子や自分のアイデアを生かし木工工作に真剣に取り組んでいたことについて感想をお話してくださいました。



大変暑い一日でしたが、メンバー全員が充実した一日を過ごしました。  
素晴らしい一日が過ごせたことに感謝して、参加者全員で記念撮影をしました。

## 参加 クラブ

- 前橋市児童文化センター  
環境冒険隊
- 太田イオンチアーズクラブ





# 活動報告



★ 私たち、環境冒険隊。  
環境調査や動植物の  
観察などが大好きです。  
環境についてたくさん  
のことを学びました。

## 前橋市児童文化センター 環境冒険隊

会 員 (14)人  
サポーター (2)人

### 令和2年度の活動

#### 1 環境学習会(2020.7.25) 児童文化センター

「自然の調べ方」鈴木正知先生、「爬虫類について」渡邊晋先生  
9時30分から講師の鈴木先生に「自然の調べ方」というタイトルでお話を頂きました。先生は、上野動物園勤務や葛西臨海水族館で飼育係として活躍しておられた方です。動物を飼育するためには自然の状態での様子を見なければできないとアフリカのケニアに4ヶ月間生態調査に行かれた際の印象に残る話をしてくださいました。また、幼虫がいる蜂の巣を持参見せてくれました。話の中で「本物を見ること。そして、常に疑問を持って見る。さらに、疑問を持って見に行くこと(行動)が大切である。」と話してくださいました。後半11時頃から講師の渡邊先生に「爬虫類について」の話を伺いました。実際に「コーンスネーク」と「ニシキヘビ」、「アオダイショウ」等を連れてきてくれました。渡邊先生は、太田市で獣医をされています。いろいろな動物の体のことを知らなければ治療ができないということで、ご自宅で蛇やカメ等の爬虫類も飼育しているそうです。コーンスネークはおとなしいので、背中やおなかのウロコの違いを触って確認しました。コーンスネークは肉食なので、隊員の目の前で「冷凍ネズミ」を食べる瞬間を見せてくださいました。また、ニシキヘビについても希望者が体表を触って確認しました。



鈴木先生のお話



渡邊先生のお話

#### 2 自然観察(2020.8.29) 憩いの森森林学習センター

ぐんま県子どもエコクラブ「おもしろ体験してみ隊」への参加

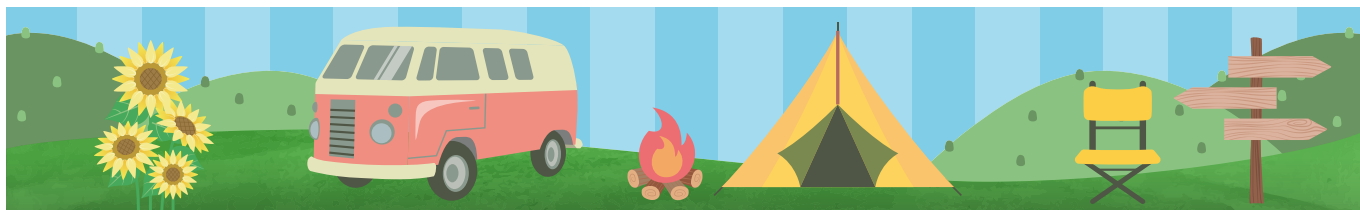
##### ① 森林観察会

3グループに分かれ「ふれあいの森」「森林浴の森」「野鳥の森」などを歩き、目についた特徴的な植物や昆虫の解説、野鳥の声に耳を傾けるなど充実した活動が展開できました。擬態しているナナフシを見つけたり、サンショウの木の香りを嗅いだりしました。また、観察の視点を遊び感覚で学べるピングocardを活用して活動しました。

##### ② 木工工作

午後の木工工作では、森の材料を使って子ども達が自由な発想で工夫した作品を作り上げました。森林学習センター内の工作室には木の枝や木の実、松ぼっくりなど様々な材料が準備され、プラスチックを溶かしてを簡単に接着できるグルーガンを使い各々創意あふれる作品を完成させました。工作室には森の生き物をモデルにした参考作品も展示されていました。





### 3 環境調査・自然観察（2020.9.4）赤城覚満淵

第3回環境冒険隊は「赤城覚満淵の生き物をしらべよう」をテーマに須藤友治先生、野口強志先生を講師にお招きし、覚満淵周辺の生き物を調べました。覚満淵は高層湿原であり、水深が深いところでも約1mと浅く、冬期には完全氷結するので魚類が住むことができないそうです。プランクトンを食べる魚がいないためミジンコなどが大量に生息しているそうです。時期にもよりますが、覚満淵で現在見られる生物は、ヤマアカガエルや水中の微生物程度だそうです。

#### 1 覚満淵の水中生物の観察

- 覚満淵の観察とプランクトンネットの使い方を知る
- プランクトンネットを使って覚満淵のプランクトンを採取し、ルーペや双眼実体顕微鏡で観察する
- 観察した生物を図に描く
- 覚満淵から大沼に流れる覚満川に降りてプラナリヤ等の微生物を採集、観察する
- ビジターセンター・レクチャールームで須藤先生のプレゼンテーションを聞く

#### 2 覚満淵周辺の散策と解説

覚満淵を回りながら初秋の植物を見つけ説明を受けました。8種類の植物（シシウド・モウセンゴケ・ワレモコウ・エソリンドウ・ヤマトリカブト・ズミ・アキノキリンソウ・メギ等）の写真を掲載したプリントを見ながら植物の名前や特徴について学ぶ。また、最後にまとめとして、赤城山や覚満淵の成り立ちについて聞くことができました。



### 4 環境調査（2020.9.12）児童文化センター

第4回環境冒険隊は「児童文化センタービオトープの水の中の生き物をしらべよう」をテーマに富澤勝則先生を講師にお招きました。

#### 1 事前に調査した

##### ビオトープの微生物の紹介と採取

児童文化センターのビオトープにどんな微生物が見られたかパワーポイントと印刷物を使って説明してもらいました。ミカヅキモやクンショウモ、ミジンコなどプランクトンには植物と動物がいることビオトープのどのあたりで採取できるか、採取方法についても話してもらいました。



#### 2 採取した微生物を

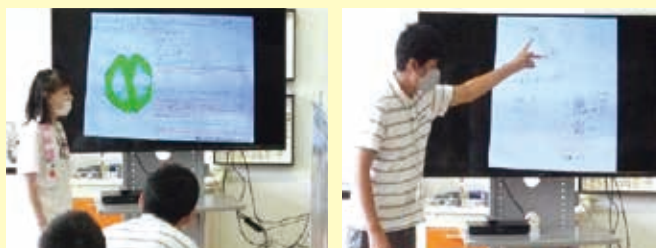
##### 顕微鏡で観察して記録を残す

採取した微生物のプレパラートを作って顕微鏡で観察しました。4年生は学校で顕微鏡を使った経験がない子が多いようです。スライドガラスに採取した水を1滴たらしカバーガラスを被せる作業や顕微鏡のピントを合わせる作業など初めて経験する子どもが多かったようです。それでも講師の支援を受けながら見えた時には歓声を上げていました。

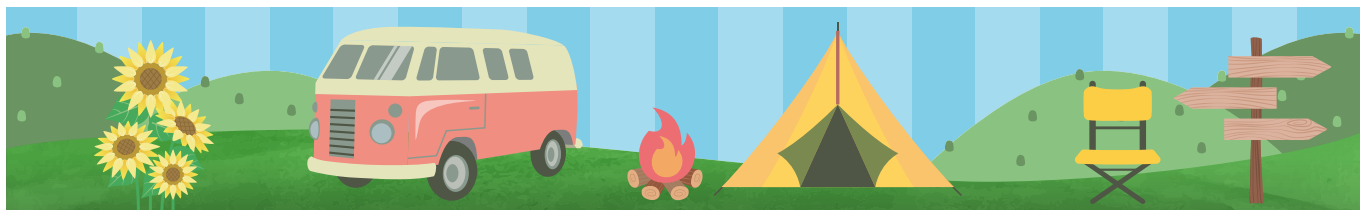


#### 3 観察記録の発表会

各自が記録した観察記録を拡大投影機を使って全員の前で発表しました。顕微鏡で見た微生物を丁寧に描いた図やそれに気付いたことを文章で詳しく記述している子どももいて互いに参考となる発表会でした。







## 5 環境学習会（2020.10.3）児童文化センター

### ①「地球温暖化を知る」講師：前橋市環境森林課亀井慎太郎主事

TVのニュースなどで盛んに報道される「地球温暖化」。地球の気温が上がっているという認識はあっても詳しい内容を知っている子どもは少ない。そこで、温室効果ガスが人間の活動によって排出されていること、熱中症等の健康被害、天候不順による農作物の不作など身近に起きている現象を紹介してくれました。また、興味深かったのが「2050年の天気予報」でした。①京都の紅葉が12月後半②真夏日連続50日熱帯夜60日熱中症による死者2000人以上③海水が上昇し珊瑚の白化④「スーパー台風」の発生⑤国内最高気温の更新。これらすべてが現実になりつつあることを実感しました。後半は、私たちが出来る対策「クールチョイス」について考えました。

### ②「前期まとめ～活動の振り返り～」講師：岩神小学校堀澤直樹教諭

1月に行われる「ぐんま県こどもエコクラブ交流会」を視野に、これまでの活動を振り返って前期のまとめを行いました。これまでの活動が書かれた「環境冒険隊の通信」や各々がまとめた「活動のまとめプリント」を参照したほか、4回の活動のスライドを見て、記憶をたどりました。まず、何のための活動なのか。目当てをしっかりとって活動が出来ていたか、目当てに対してどんなことが分かったかをこれからも注意していくようにしました。



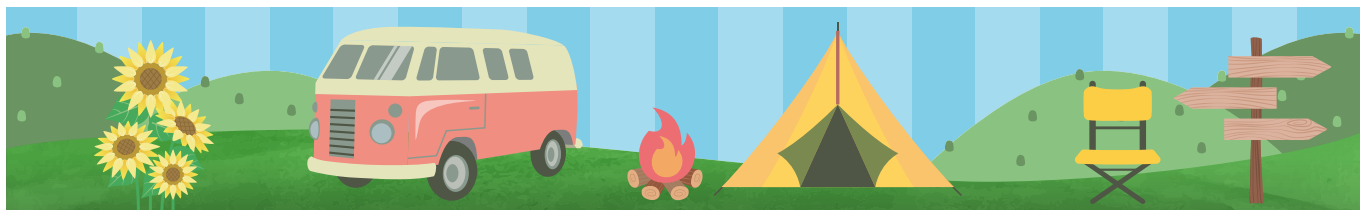
## 6 自然観察（2020.10.17）赤城長七郎山

赤城の自然を調べよう 講師：浦野安孫先生（緑のインタープリター）、岡野園子先生（緑のインタープリター）

赤城の自然を調べようをテーマに鳥居峠から長七郎山に登る予定であったが雨天のため長七郎登山を中止しました。ピジターセンター・レクチャールームで赤城山の動物について緑のインタープリターの浦野安孫先生 岡野園子先生を講師に鹿を中心に講話をしていただきました。1kmに生息する頭数の多さに驚くとともに、鹿による山林の被害について知ることができました。このように鹿が増えた原因が食物連鎖の頂点に立つオオカミの絶滅、地球温暖化による積雪量の減少等、それらすべてが人間の生活に起因することを知り考えさせられました。さらに、赤城に住むツキノワグマの爪の実物を見せていただき、近年の熊の出没件数の増加についても人間の生活が要因となっていることも紹介されました。後半は、鳥居峠から覚満淵に向かい覚満淵を回りながら周辺に自生している植物の観察を行いました。







## 7 環境学習会（2020.10.24）児童文化センター

### ①「これまでの経験を振り返り自然と生活のつながりを考えよう」鈴木正知先生

講師の鈴木正知先生が「自然自然と言っても、皆さんは一つの単体、物を見ているにすぎない。または、一つの環境、特定の場所にいる生き物にどうしても目が行きがちだと思います。皆さんの発表は覚満淵の動物や植物、ピオトープの微生物などが多かったと思う。」「自然とは目に見えないものであり、光であり、空気であり、水でもある。そして、その自然を人間が破壊してしまっている。その解決の糸口はできつつある。それを行っていくのが皆さんの世代であるかもしれない。」というメッセージの後にグループでまとめたものを発表しました。最後に、食物連鎖の上位にいる猛禽類のフクロウを見せてもらうことができました。

フクロウの風切羽は新幹線に応用されていることも聞くことができました。



鈴木先生の話



グループの発表



2種類の猛禽類フクロウ

### ②「爬虫類の生態について知ろう」渡邊晋先生

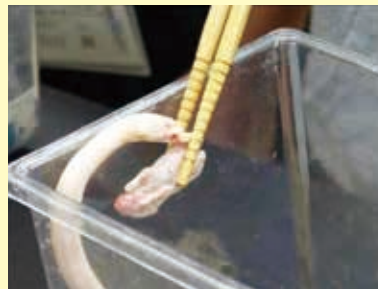
「爬虫類の生態を知ろう」をテーマに講師の渡邊晋先生から講話をいただきました。コーンスネーク、ボールニシキヘビ、トカゲ、カメレオン、リクガメを見せてもらいながら生態の説明をしていただきました。ヘビにも足があった名残があること、温度や臭いを感じる舌の動きなどについて聞くことができました。また、ヘビに餌の冷凍ネズミを与えたり、トカゲ類にコオロギを与える貴重な経験をすることができました。



ボールニシキヘビの観察



リクガメの紹介



コーンスネークの餌やり

サポーターコメント



コロナ禍のため予定していた計画がスタート段階になって大幅な変更を余儀なくされ系統的な取組ができなかった。体験的な活動は行えても、川の生物の個体数や汚れの比較など科学的な調査が十分できなかった。また、県有施設の団体利用不可もあいまってフィールドワークの回数が例年の半数以下になってしまった。

そんな状態での活動であったが自然観察、環境調査など初めて経験する子どももいて意欲的に取り組む様子が見られた。また、環境破壊や地球温暖化など言葉では知っていても実感を持った理解には至らなかったが特定の環境や特定の動植物から関連づけて理解を深めることができたようである。

# 活動報告



地域の小学生・中学生のメンバーを対象に環境について学んでいます。

## 太田イオンチアーズクラブ

会員 (11)人  
サポーター (2)人

### ■夏

#### 【田んぼの水はどこから来るのか】

8月2日 東部農業事務所の先生に来ていただき教わりました。イオン太田の周りの田んぼの水はどこから来る？ 渡良瀬川から→頭首工→大谷分水工→大谷幹線水路→水路→田んぼと、どんどん分かれて、たくさんの水路を通ってくることで、田んぼまで流れてきていることが分かりました。イオンの横を流れる、水路を見学しとなりにある遊水池も見学しました。遊水池の役割も教えてもらいました。環境にも気をつけて水路を作っていることも教わりました。



#### 【群馬エコクラブ、おもしろ体験してみ隊】伊香保の森林観察、木工工作

8月29日 植物が、虫にタネを運んでもらえるように、寄ってきてもらえるように進化していること、昆虫も変化していることを学んだり、不思議な植物を実際に見てさわって、匂いを嗅いだりしました。木の枝や、木の実などを使って、自分だけの置物を作りました。みんな個性豊かな作品ができました。

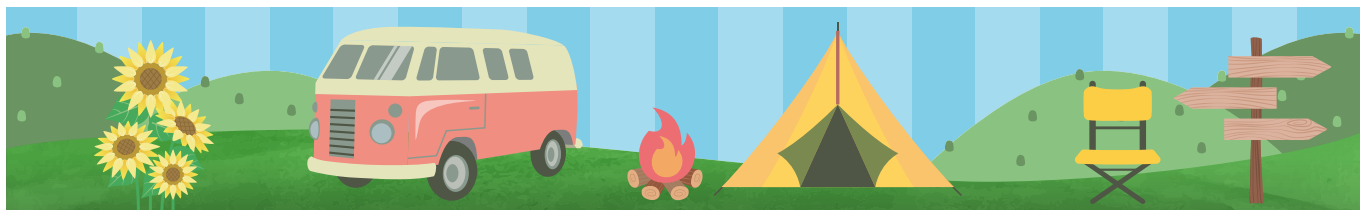


#### 【いつも使っている水の量はどのくらいかな？ お家で使っている水を測ってみよう】

歯みがき、顔を洗う、手洗い、洗濯、そうじ、料理、食事、飲み水、お風呂、シャワー、トイレ、草木の水やりなど。お風呂が思ったより多い量だったと言っている子がいました。







**【お家でもやしを育ててみよう】**

もやしの種（緑豆）から、育てました。暗い、温かい、水分たっぷりの所で、育てました。一日、何度も水を交換するのが大変でしたが、100gくらいのもやしが出来ました。



**【世界にはきれいな水を飲めない子がいるよ、何か出来る事はあるかな、考えてみよう】**

ユニセフのCMでも流れた、泥水を飲む子供の写真から自分たちならどうするか。自分に出来ることがあるか、それぞれで考えてもらいました。



**■秋～冬**

**【ペットボトルで、ミニトマト、枝豆を育ててみよう】**

寒くなってきたので、発芽に成功するのが大変でしたが家の中の温かいところで育てました。ペットボトルの水だけで、水耕栽培を出来る事が一つの気づきになると思います。日ざしが、弱く元気に育ちませんでした。ペットボトルなので、根が水を吸うために伸びているのが良くわかりました。

**枝豆**



**山に植えるための、苗木を育てよう、苗木の里親**

11月から1年間、自分の家に持ち帰り、コナラの苗木を育てる。育った苗木は、みなかみの山に植えてもらいます。1年後、大きくなるのが楽しみです。



今年はコロナ禍でほとんど、揃っての活動が出来ませんでしたが、それぞれのお家で、環境について考えてもらいました。



# 活動報告



## 元総社エコクラブ 「わんぱく探検隊」

会 員 (12)人  
サポーター (6)人

### 令和2年度の活動

今年は今迄の中で最悪の1年でした「史上最大の試練」(国連宣言)と言わしめた新型コロナウイルスの影響で、日本でも非常事態宣言が出され、4月は小中学校での休校や集団活動の自粛や手指の消毒、うがい、マスクの着用、大声を出さないなどなどいろいろな規制や自粛が求められ、中高では部活動や大会の中止と大変な状況が続いて来ました。

そんな中で、子どもたちが家に閉じこもるのではなく、外で太陽の下、風通しのよい所で活動出来る健康と実益を兼ねた、「エコ農園」の活動をもう18年も続けています。

畑!!畑!!畑!!今年も元総社エコクラブは、子どもと親、サポーターの人たちが春から畑仕事で協力。サツマイモの収穫。じゃがいもの収穫。ナス、トマト、キュウリ、カボチャ。秋から冬へ。タマネギの苗を育て、1人200本、11人で2000本以上の植付。これからじゃがいも40kg、収穫が楽しみ。

いつも、みどりいっぱい、光合成で酸素が風を受けてさわやかさいっぱい。広々とした畑の中は、コロナウイルスなんか吹っ飛ばしてしまう。無農薬の手作り、地産地消、健康にもよい、みどりがいっぱい、さわやかな風の畑はSTOP地球温暖化エリアだ!!



畑で楽しむ小6年生の2人

### サポーターコメント



活動を始めて25年、子どもたちも年々育って、大学生や社会人となっていく。サポーターも高齢化してフットワークが悪くなっていく。このコロナ禍の中であって、エコクラブも「新しい生活様式」に切り変わらざるを得ない。さあ、これからどうしようか。

# 活動報告



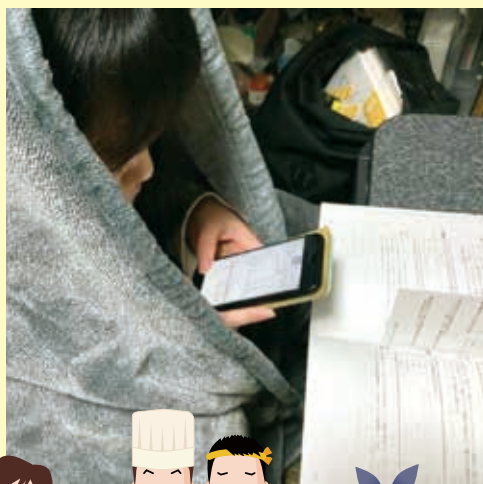
家族でエコ活動に取り組んでいます。

## まなやんず

会 員 ( 1 ) 人  
サポーター ( 1 ) 人

### 令和2年度の活動

「日頃の小さなことからコツコツと」をモットーにエコ活動を毎日つづけています。  
例えば、冬は暖房の設定温度を低く設定して家の中で厚着をして過ごします。



最近は、食品ロスを無くすために、  
どんな事ができるのか模索中です。



### サポーターコメント



小さな家族クラブですが、できることを無理なくやっっていこうと思います。



# 活動報告



★  
 たくさんの発見をして、  
 一年間楽しく活動できました。  
 ✨ これからも美しい  
 大島の自然を守るために、  
 活動を続けていきます。  
 //

## 大島自然たいけんたい

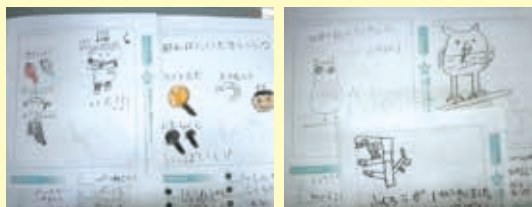
会 員 ( 7 ) 人  
 サポーター ( 2 ) 人

### 令和2年度の活動

館林第四小の3年生全員が美しい大島の自然を守るために、季節毎に自然観察を行い、わかったことをこどもエコクラブや地域に発信しています。

### 季節ごとに自然観察

学校の周りにはたくさんの生き物が生息し、秋から冬の間はフクロウも観察できます。



ひまわりを栽培して、地域の方々に種をプレゼントしました。



どんぐりの種まきです。6年生になったら、現地学習で足尾の山に植樹するために、クヌギの苗を育てています。

### サポーターコメント



学校のすぐ北側に渡良瀬川が流れ、広大な田んぼに囲まれた自然豊かな環境です。学校周辺にはたくさんのカエルや昆虫などが生息し、学校園には野生動物の足跡などもあります。毎年、元気な3年生が「大島自然たいけんたい」として大島の自然を守るために活動を続けています。



# 壁新聞を紹介します！

群馬県こどもエコクラブ事務局に寄せられた壁新聞  
絵を紹介します。

2020年度こどもエコクラブ「全国エコ活コンク  
ール」の壁新聞部門にこの中の2点を応募しました。




# 太田イオンチアーズクラブ

2020年度

## 太田イオンチアーズ(テーマ:水・自然)

### 田んぼの水

5月の田植えから10月まではおとどき農家の数を減らしていき、6月下旬になると目標とする農家の数に達し、おとどき農家の数が減ります。




両方の山にしみこんで、そこからわき出た田んぼを通って、田んぼの間に流入し、そこから用水路に入り、田んぼに流れ、川に入るよ。

水をくみ取り、田んぼの水は、おとどき農家の田んぼにたどりつく。

《田んぼの水 ①》

### 田んぼの水 ②


1. 田んぼの水をくみ取り  
2. 田んぼの水をくみ取り  
3. 田んぼの水をくみ取り



《田んぼの水 ②》

### ユニセフACMの水

ユニセフACMの水




《ユニセフACMの水》

### まとめ①

水が大切とよく聞くけれど、本当に水が大事だとわかった。水が汚れないようにきれいにできるように大切にしたい。

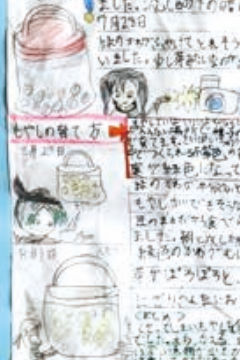
《まとめ①》



### 《もやしを育てた①》

#### もやしの育て方

7月2日  
7月20日

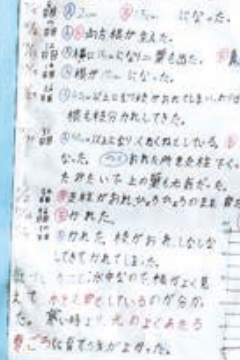


《もやしを育てた①》

### 《もやしを育てた②》

#### もやしの育て方

7月2日  
7月20日



《もやしを育てた②》


### まとめ②

コロナのおかげでも、水や自然について、家でできることがあった。みんなも活動したい。

《まとめ②》

### スプラウト

スプラウト



群馬 群馬 太田 群馬

太田イオンチアーズクラブ













群馬県環境サポートセンターからの

# おすすめ情報

## 県内の小中学校で活躍するエコムーブ号



### 動く環境教室とは

動く環境教室は、県に登録した環境学習サポーターが、直接学校等に出向き、エコムーブ号に搭載している教材教具などを使って、環境学習をサポートします。料金は、無料です。環境教室の実施に必要な物品は環境サポートセンターで用意します。

希望する県内どこの小中学校にもお伺いします。

動く環境教室のホームページにて

<http://www.ecogunma.jp/?p=46>

予約状況を公開しています。

また、実施依頼書や教材のダウンロードもできます。



詳しくはホームページで！  
4月から申し込み受付開始！

## ▼ プログラムは7つ用意しています

「問題に向けて実験を行い、実験結果をもとに自分の生活を振り返る」という授業形態で実施します。

**テーマ1** 「家庭から出る水のごみを調べてみよう(小3～小5程度)」

**テーマ2** 「川や池の水質を調べてみよう(小6～中学生程度)」

**テーマ3** 「自動車から出るガスのごみを調べてみよう(小3～小5程度)」

**テーマ4** 「ごみは大切な資源(小3～小5程度)」

**テーマ5** 「リサイクルについて考えよう(小6～中学生程度)」

**テーマ6** 「省エネ電球で地球温暖化について考えてみよう(小3～小5程度)」

**テーマ7** 「発電から地球温暖化について調べてみよう(小6～中学生程度)」

## ▼ 動く環境教室の実施形態

- 通常体育館等で2時間を使って2つのテーマを実施しています。(1テーマでも可能)
- エコムーブ号は県庁から出発しますので、3校時以降の実施時間をお願いしています。各プログラムは小学校45分間、中学校50分間で実施しますので、授業時間の確保をお願いします。
- 30人以上の場合は、2グループに分けて授業を実施します。7つのプログラムから2つ選択し、前半と後半でクラスが入れ替わるのが一般的です。100人以上の場合は、2日間に分けてください。各プログラムの1回の授業人数は50人未満を想定しています。

ご利用方法

## ▼ 予約：まず、環境サポートセンターまでお電話ください。

実施可能日はホームページ内の予約一覧をご覧ください。なお、すべての月曜日は準備日です。当日指導する環境学習サポーターの日程調整があるため、1ヶ月前までに予約をお願いします。

## ▼ 実施依頼

プログラム開催時間などが決定しましたら依頼書にてFAX等で申し込んでください。

申込み  
問い合わせ先

群馬県環境政策課(環境サポートセンター)

電話:027-226-2827 FAX:027-223-0154

E-mail:ecosusumu@pref.gunma.lg.jp

## ▼ 授業の概要の紹介

次のページに7つのテーマからテーマ1について、授業の概要を紹介します。



## 授業の概要

# 分野：私たちの生活と水問題

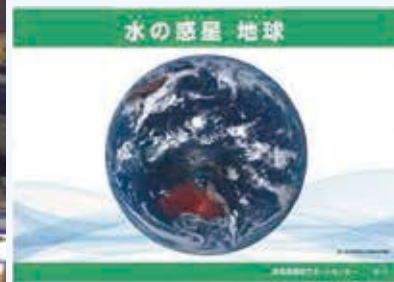
テーマ1 「家庭から出る水のごみを調べてみよう(小3～小5程度)」

### 1ねらい

- 自分たちの生活と環境問題へのつながりを意識づけ、環境に対する負荷を減らそうとする意欲を育てる。
- 醤油・スポーツドリンク・牛乳が排水として川に流れ込むと川の水質をよごす原因となることを実験を通して知る。

関 意 態

知 理 技



### 2実験(追求)

- ①醤油・スポーツドリンク・牛乳の拭き取ったものとそうでないものの汚れ具合を1人2本のパックテストを使い(COD)調べる。
- ②パックテストの結果から、それぞれの汚れ具合を知る。



### 3まとめ

実験結果から考えて、川を汚さないために自分たちのできることを考える。

授業の概要は  
こちらから  
動画でご覧  
いただけます。



# こどもエコクラブへ登録してみませんか？

群馬県こどもエコクラブ事務局  
(群馬県環境政策課)

## 「こどもエコクラブ」って何？

こどもと大人で誰でも参加できる全国組織の環境活動クラブです。25年の歴史があり、現在は(公財)日本環境協会が主催し、環境省が後援、群馬県も地域事務局としてクラブの活動を支援しています。活動は、自然観察や調査、ゴミ拾い、リサイクル活動など、自分たちのできる身近な環境活動に取り組めばよいのです。



エコまるとぐんまちゃん

### こどもエコクラブの活動

- こども（メンバー）1人と、大人（サポーター）1人から始められます。
  - 環境に関心のある家族や地域団体、公民館や学校での取り組み等\*があります。
- \*クラブ・委員会活動、学年、PTA、育成会、少年団、ボーイスカウト、児童館活動etc.

### 登録のメリット

代表的なメリットをあげてみました。

- 環境問題への意識や意欲を高めることができます。
- 活動に役立つツールがもらえる。(メンバーズバッジなど)
- メンバーやサポーターは登録後に「賠償責任保険」の対象になります。
- 学習会や交流会、発表会等の情報が得られます。

### 登録の方法

次のどの方法でもできます。

- ホームページ上で登録する。(http://www.j-ecoclub.jp/club\_entry/)
- ホームページから登録用紙をダウンロードし、メールかファックス、郵便で送る。
- 県や市町村の環境担当窓口で直接申し込む。

くわしくはこどもエコクラブ全国事務局のホームページをご覧ください



<http://www.j-ecoclub.jp/>

※群馬県のこどもエコクラブ運営について、ご不明な点等ございましたら、下記へお問い合わせください。

群馬県 環境政策課 こどもエコクラブ担当  
TEL.027-226-2827 FAX.027-223-0154



# 令和2年度 市町村事務局一覧

市 町 村	担 当 課	担 当 係	電 話	F A X
前 橋 市	環 境 森 林 課	環 境 政 策 係	027-898-6292	027-223-8524
高 崎 市	環 境 政 策 課	環 境 企 画 担 当	027-321-1251	027-321-1161
桐 生 市	環 境 課	環 境 都 市 推 進 係	0277-46-1111 (内線575)	0277-43-1001
伊 勢 崎 市	環 境 保 全 課	環 境 企 画 係	0270-27-2733	0270-24-5253
太 田 市	環 境 政 策 課	環 境 企 画 係	0276-47-1953	0276-47-1881
沼 田 市	環 境 課	環 境 係	0278-23-2111 (内線77374)	0278-20-1501
渋 川 市	環 境 課	環 境 政 策 係	0279-22-2114	0279-24-6541
富 岡 市	環 境 課	環 境 係	0274-62-2823	0274-62-2339
安 中 市	環 境 政 策 課	環 境 推 進 係	027-382-1111 (内線1883)	027-381-2783
み ど り 市	生 活 環 境 課	環 境 衛 生 係	0277-76-0985	0277-76-9813
榛 東 村	住 民 生 活 課	環 境 衛 生 係	0279-54-2211 (内線122)	0279-54-8225
下 仁 田 町	保 健 課	環 境 係	0274-82-5490	0274-70-3013
片 品 村	農 林 建 設 課	環 境 係	0278-58-2114	0278-58-2110
川 場 村	むらづくり振興課	森 林 環 境 係	0278-52-2111	0278-52-2333
昭 和 町	産 業 課	産 業 振 興 係	0278-24-5111 (内線151)	0278-24-5254
み な か み 町	生 活 水 道 課	環 境 政 策 室	0278-25-5003	0278-20-2003
大 泉 町	環 境 整 備 課	環 境 係	0276-63-3111 (内線562)	0276-63-3921

※表にない市町村では、環境担当窓口におたずねください。



「エコまる」と「がんばりアースクラブ」は、こどもエコクラブのイメージキャラクターです。



群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係  
こどもエコクラブ群馬県事務局

令和3年3月発行

〒371-8570  
群馬県前橋市大手町一丁目1番1号  
電話 027-226-2827